

令和5年度議員視察研修（岡山県）報告書（谷 崎）

1. 日 時 令和5年11月6日（月）から7日（火） 別途行程 省略
2. 対 象 美咲町 議会改革
津山市 移住定住
西栗倉村 ゼロカーボン
3. 場 所 各庁舎議会および現地
4. 内 容

（1）美咲町 議会改革

- ・デジタル化をコロナ下で進めている。
取り残さない、伝わる議会として、メディアミックス構想により、広報、HP、告知放送、データ放送、地場TV、情報アプリ、youtube、プレリなど多用している。
併せて、小中高大学生各層の模擬議会、地域出前議会など担い手づくり、未来議会と位置づけ活動。
議会基本条例は当然、制定されている。
- ・所 感 地域や次世代層への取り組み、デジタル化、基本条例など議会としての取り組み規範と施策が整っている。

（2）津山市 移住定住

- ・東京、大阪での展示紹介で、岡山県のブースから、岡山市、倉敷市、第三の都市津山市として、認知される。
移住コンシェルジュ、他所出身、移住転居歴の多い女性、2名を「移住者懇談会」から選任、会計年度任用職員。
R4、移住相談723，移住264
定着率は移住者懇談会参加者の中では、転出はない。
縁結びサポーターボランティア、35名。
18歳の崖、学生の定着促進
- ・所 感 県内陸の地方都市として、暮らしやすさとPRが揃っており、移住者懇談会など、地方移住対応、地域の隔たりの対応として有効。

（3）西栗倉村 ゼロカーボン

- ・森林育成事業と小水力活用。
展示会などで、ゼロカーボンを全面にし、国の後押しなどの効果があった。
チップボイラーなど機器導入は、メンテ面から、国産が良い。
税込1億2千、売電収入1億1千の状況。
水力は、メンテ面からも、終日発電可能など最も有力
太陽光は下地利用、夜間、降雪対応など不向き。
- ・所 感 集水面積の大きい、山間の標高差の大きい地域であり、小水力の持続発電に適している。岬町内では逢帰りダムの利用も検討出来るが、落差、水量確保の自流式水力は、技術更新が待たれる。

以 上